

経営者様
人事担当者様
必見



富士の人事部発足記念シンポジウム

本音で語る

なぜ採用しても
定着しないの？

富士市“育成・定着・採用”の

なぜ欲しい人材と
出会えないの？

現在地と次の一手

～産・官・学の視点から紐解く、富士のリアル人材課題～



富士市長
金指祐樹氏



富士エリア企業代表
富士商工会議所
副会頭 和久田恵子氏



データサイエンティスト
株式会社VITAL DESIGN
代表 渡邊貴志氏
(元 伊藤忠商事、ReHacQ/PIVOT出演)



若者世代の代弁者
現役大学院生/富士市議
山岡祐貴氏



座談会コーディネーター
富士の人事部
CHRO 川上大樹氏

2026 5.19 (火)

18:30-20:00

ジヤトコ株式会社 本社ホール
参加費無料

<第一部> 経済産業省が推奨する『地域の人事部』と富士の人事部発足について

<第二部> 富士の人材課題座談会

駐車場情報は、お申し込み後にメールにてご連絡いたします

事前お申し込みフォームはこちら

<https://forms.gle/nCWK7bAHGhccBfet7>



富士の人事部 F-DRivE とは

F-DRivEは、地域の人・組織に関する課題を解決する「プラットフォーム」です

本プラットフォームは、経済産業省が推奨する「地域の人事部」というもので、自治体・金融機関・教育機関などが地域全体で連携し、企業単独では難しい人材の確保・育成・定着を「面」で支援する、地域一体型の人材戦略システムです。

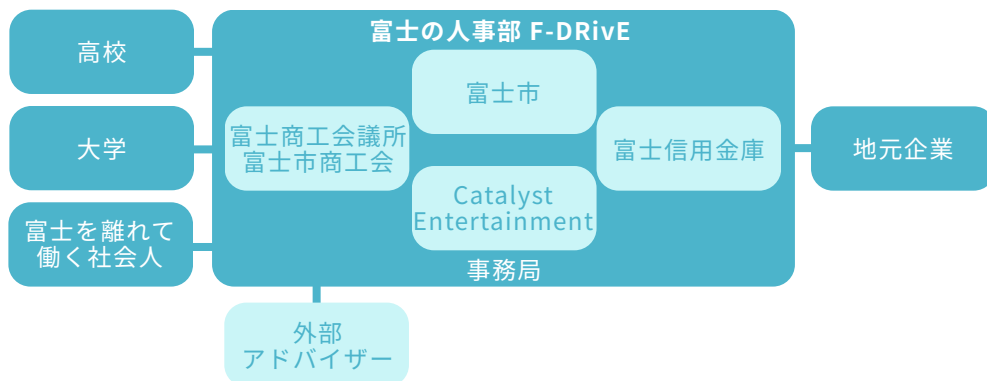
令和6年度中小企業実態調査事業（帝国データバンク）によると、会社の規模によらず独力で対応していくことが難しい経営課題のトップが「人材確保・人材育成」となっています。一方で、富士市にフォーカスしてみれば、地域少子化・働き方指標 第5版（内閣府）によると全国1,700以上の市区町村を対象とした調査で15歳～19歳の転出が全国ワースト17位、20歳～24歳の転出が全国ワースト56位という状況にあります。つまり、全国的に人材確保・人材育成に関する課題に直面している中で、特に富士市では人材の確保が他の市町に比べて難しい状況にある可能性が高いということです。

富士の人事部では、育成▶定着▶採用のアップサイクルを継続することで常に成長し続けられる企業が溢れる富士市を目指します。また、働く人が「働きがい」を感じながら仕事に取り組むことが、自社への愛着につながり、さらには魅力的な企業としての認知度向上につながっていくと考えています。



富士の人事部 F-DRivE コンソーシアムについて

富士の人事部 F-DRivEは、Catalyst Entertainment合同会社が事務局として主導する形で、富士市、富士商工会議所、富士市商工会、富士信用金庫、とともに令和8年4月にコンソーシアム形式で組成しました。他地域では、長野県（松本市・塩尻市）や近隣の三島市などで既に「地域の人事部」が稼働中で、個社では解決できなかった『優秀な人材の確保』や『定着率の向上』に大きな成果を上げています。



本シンポジウムの位置づけ

本シンポジウムは、富士市が現在直面している人材課題や今後何もしなかった場合に起こりうること、ありたい未来などを企業の経営者さまや人事担当者さまと共に考えることを目的としています。第二部 座談会では富士市関係者だけではなく、全国でご活躍されている人事データサイエンティストも加え、今富士市で取り組むべきことを考えていきます。

本シンポジウムへのお申し込みについて

本フォーラムへのご参加について、事前のお申し込みをお願いしております。QRコードより必要事項のご記入をよろしくお願い致します。



本シンポジウムおよび富士の人事部に関するお問い合わせ先

富士の人事部 F-DRivE
事務局 Catalyst Entertainment合同会社

✉ h-kawakami@catalyst-entertainment.jp